

ほたるサミットあぐい'10

ほたるフォーラムの中で阿久比町からは、平成十八年に土壌汚染防止条例を施行して、生活環境保全を進めていることや、マス「アグヒー」が「ホタル飛びかう住みよい環境づくり」のPRで活躍していることなどを発表しました。アドバイザーの田中大和環境省情報システム企画官は、小さな命は、時間的にも空間的にもつながっている。ホタルの「光」のエネルギーは人間の豊かな心を育む」とフォーラムをまとめました。

ホタルの光は 豊かな心を育む



ほたるフォーラムを行う参加市町の首長



発表を行う東部小環境委員



東部小児童がオープニングを飾る

サミットオープニングを、東部小学校の児童たちが飾りました。同校は、環境委員会を中心にホタルの飼育活動を行い、全児童がホタルを通して環境教育を実践しています。



デュエットする竹島さん(左)と新美さん(右)

生き物を大切に
自然を守る心を学びました

四年生～六年生の環境委員十三人が、日ごろ取り組んでいるホタルの飼育活動について紹介しました。「生き物を大切にすることを学びました。これからはホタルとともに自然を大切にしていきたい」と力強く発表すると、来場者から多くの拍手が起りました。東部小学校では、平成十九年に児童や地域の保護者らと作った「ホタル愛唱歌」(全四曲)を歌い継いでいます。その中から「こころの光」を四年生の新美希実さんと竹島百合香さんがデュエットで「ホタルのおまつり」を環境委員と四年生全員が合唱して会場の雰囲気をもたせ、サミットを盛り上げてくれました。

石原良純さん記念講演



サミットを記念して、俳優で気象予報士の石原良純さんが「空を見よう」と題し、講演を行いました。家族やテレビ番組のエピソードなどを交えて話を進め、「かけがえのない地球を次世代に伝えるため、今何をすべきか考えるときです。空のなを見上げて下さい」と約四百人の来場者に呼び掛けました。